

(様式2(1))

事業所名 アネシスもとやま

作成日: 令和 8年 6月 5日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	利用者・家族の参加が得られよう働きかけることが望まれる。議事録に、出席者、出席者との意見・情報交換を記録することが望まれる。	議事録の書式を変更し、出席者欄、意見欄を作成する。利用者、家族の参加が少ない為、定期的な参加をしていただけるよう働きかける。	出席者欄、会議中の意見を記載出来るように書式自体を変更する。ご家族様宛の案内状についても再作成し、参加しやすい雰囲気や興味を持っていただけるよう努め、参加者向上へ繋げていきたい。	1ヶ月
2	6	指針の内容と現状の取り組み状況を整合することが望まれる。委員会の議事録の周知を明確にすることが望まれる。各フロアの職員が、身体拘束や行動制限についての現状や防止に向けた取り組みを検討する機会を設けることが望ましい。	議事録の周知を明確にしていく。身体拘束、行動制限についての取り組み機会を作る。	議事録確認後の確認欄を修正し、議事録確認者が一覧で把握できるよう書式を見直しを行う。合わせて指針内容を見直し、状況乖離が起こらないようにしていく。	3ヶ月
3	7	虐待・不適切ケア防止について検討した内容も、「虐待防止および身体拘束適正化委員会」の議事録に記録すること、委員会の議事録の周知を明確にすることが望まれる。各フロアの職員が、虐待や適切ケアについての現状や防止に向けた取り組みを検討する機会を設けることが望ましい。	虐待防止および身体拘束適正化委員会において検討内容について詳細に記載する。研修の機会などに虐待、不適切ケアについての取り組みを検討できる機会の実施を行う。	今年度中に研修を通じて不適切ケアへの理解、取り組みが出来るよう整備する。虐待防止および身体拘束適正化委員会の議事録内において詳細に検討内容を記載するよう見直しを行う。	1ヶ月
4	23	利用者の生活歴・生活習慣・趣味嗜好等を、記録・追記し、人物像の把握や個別支援に活用できる記録様式の工夫が望まれる。	歴史シート(アセスメントシート)等に加えて、現状のご本人様の要望、人物像などが反映された書式へ見直しを行い、新たな書式へ変更する。	記録様式の見直し、過去の状況と現在の状況のどちらも把握できる様式へ変更していく。より人物像がイメージしやすく、個別支援に活用できる物を作成する。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。